事例No.	2347
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	伊手振興会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・組織改革 ・消防・防災

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

地域運営組織の持続的な運営に向けた
取組（伊手振興会）

出典

地域運営組織の持続的な運営に向けた取組事例集

伊手（いで）振興会 ①

01

【概要】

立地自治体		岩手県奥州市	人口規模		約1,400人
設立年度		昭和53年度	活動エリア		小学校区と一致する
構成団体	構成団体	自治会	法人格の有無		無
			体制		役員とは別の事務局体制を確保
			詳細	役員	54名
	協力団体	地域活動団体		役員以外	4名（うち常勤・有償1名、非常勤・有償3名）
			ホームページなど		https://esashiide.jimdofree.com/

【具体的な活動内容】

【特別プロジェクト（3プロジェクト）の推進】

- 路線バスの廃止に伴い、地区内交通として自家用有償旅客運送を実施することとし、住民に対するヒアリングによるニーズの把握や令和4年度の試験運行を経て、本格実施に取り組んでいる。
- 小学校の統廃合を受けて、廃校の旧校舎を地域活動の拠点としてリニューアルし、地域運営組織が中心となって、子どもをターゲットとしたイベントの実施に取り組んでいる。
- 地域の基盤産業である農業の振興について、水、コメの地域ブランド化や、担い手が高齢化している農地の保全に取り組んでいる。



【子ども支援・子育て支援】

- 地域運営組織が主体となって、多世代が気軽に集まり、交流することのできる機会の創出に取り組んでいる。
- 放課後児童クラブ「いでっ子くらぶ」では、社会福祉協議会やJAなどと連携して、地区センターを会場に「いでっ子笑顔食堂」を開催している。

【安全・安心】

- 高齢者世帯を対象にした個別防犯パトロールや「ため池パトロール」などを通じた、見守り活動を実施している。
- 洪水や山崩れを想定した災害への備えや避難訓練などの防災の取組を実施している。
- その他、交通防犯教室をはじめとする交通安全、住民自ら取り組むことのできる有害鳥獣対策の検討などを実施している。

出典：伊手振興会 資料

伊手振興会（いで） ②

01

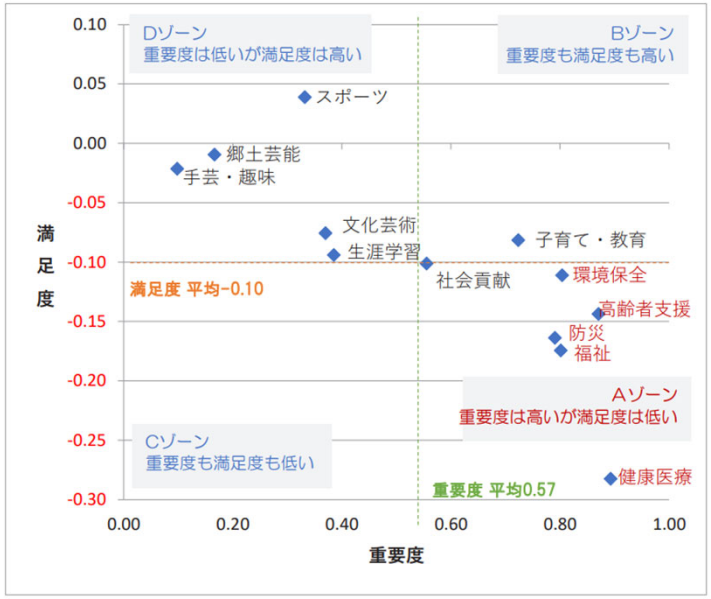
【地域計画（ビジョン）の策定・見直しに向けた取組事例】

取り組み	計画の作成にあたって、既存事業の評価を実施し、その後の活動に反映
経緯・狙い	• 鉱山の閉山等の産業構造の転換や人口減少・高齢化が進み、従前の地域づくり活動を維持し続けるのが困難となっていた。数十年後には人口規模が半減する見通しであるなか、コミュニティ計画の更新を契機として、地域運営組織が取り組む地域づくり活動の見直しを実施することとなった。
取組の概要	• 地域運営組織の役員や事務局だけでなく、住民から広く意見を聞いて計画に反映させるため、アンケート調査やワークショップを実施した。従来行われてきた活動の「重要度」「満足度」を把握し、二軸分析を通じて取組の仕分けを進めた。 • 地域運営組織の行う独自事業について、環境や福祉、防災など重要度は高いものの満足度の低い取組に焦点を当て、重要度が相対的に低い取組については、類似する活動を集約するなどの見直しを行った。
成果	• 地域の話し合いを通じてコミュニティ計画の見直しに取り組むとともに、組織の在り方の見直しも実施した。具体的には、従来の部会からプロジェクトに取り組む委員会への改編や、活動を継続できない場合の縮小も念頭に置いた組織づくり、少人数でできることを小規模なグループで実施するなどの体制構築を進めることができた。
今後取組みたいこと	• 10～20年先ではなく5～10年の期間で考えて成果を出せるような特別プロジェクトを実施し、活力ある地域の実現を目指すとともに、現在の目標年度（令和6年度）の次の展開を見据えて、自走できる組織づくりに取り組む。 • 地域活動の拠点の整備を契機として、更なる活動の活性化を図る。

表　評価が高かった活動と理由（一部抜粋）

伊手地区敬老会	空き家対策講座
重要度：とても重要　4点	重要度：とても重要　4点
今後：このまま継続　4点	今後：このまま継続　4点
理由：参加率が良い。楽しみにされている。	理由：重要性を理解する機会になっている。
課題：祝う側が減るため、やり方を変える必要がある。	課題：利活用の視点を盛り込んではどうか。

図　地域活動の重要度と満足度



出典：伊手振興会 資料